

平塚市環境基本計画関連事業 平成27年度上半期進捗状況

資料3

(1)重点施策の目標

施策の方向	施策の柱	施策の項目	目標	現状	事業計画		H27年度 上半期の進捗状況	主管課
				26年度	27年度	28年度		
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」をふやします	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	53園・校	55園・校	56園・校	平塚市立小中学校全43校、平塚市立幼稚園全5園、私立幼稚園5園の計53校(園)が、それぞれ共通メニュー及び独自メニューの実践に引き続き取り組んでいる。	教育総務課
	「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	環境ファンクラブの会員数	108人	180人	200人	緑化まつりやひらつか環境フェア等を実施し、ひらつか環境ファンクラブの活動を周知したが、目標を達成することはできていない。今後も、様々なイベント活動に合わせて当クラブの活動をPRしていく中で、会員数の増加を目指していく。	環境政策課
			平塚市環境共生型企业懇話会の参加企業延べ数	71企業	100企業	100企業	上半期の参加企業延べ数 31企業 (内訳) ・第1回懇話会 10企業 ・第2回懇話会 9企業 ・環境フェアへの展示 4企業 ・第1回役員会 4企業 ・第2回役員会 4企業	産業振興課
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	自然についての講座、観察会等の参加人数	57人	45人	45人	セミの抜け殻を調べる行事(2回、38人)や金目川の野鳥を観察する自然教室(1回、9人)を開催した。	博物館 環境政策課
	里山を保全し再生します	里山の保全・再生とふれあいの推進	里山保全モデル事業の開催回数・参加人数	7回 87人	6回 90人	6回 90人	5月に第1回平塚市土屋頭無地区里山保全協議会を開催し、市民ボランティアや里山保全団体など22人が参加した。第2回は10月に開催予定であり、3月まで毎月開催する。	環境政策課
	農地を保全し活用します	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	耕作放棄地面積	9.5ha	3.0ha	2.7ha	「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を10月上旬から実施するため、現時点では実績値の把握ができていない。引き続き両主管課で連携して事業を進める。	農業委員会事務局 農水産課
市民農園数			23箇所 (1,208区画)	24箇所	25箇所	市民農園の候補地を選定(小鍋島)。開設に向け事前調査等の手続きを行った。	農水産課	

施策の方向	施策の柱	施策の項目	目標	現状	事業計画		H27年度 上半期の進捗状況	主管課
				26年度	27年度	28年度		
都市環境の保全と創造	うるおいとやすらぎのあるまちにします	みどりのネットワークの形成	市民1人当たりの都市公園の面積	5.40㎡	5.45㎡	5.50㎡	平成27年度上半期に新たに1,82haを供用開始し、一人当たり0.43ha増えた。平成27年度上半期では、その数値目標を達成した。	みどり公園・水辺課
		さわやかで清潔なまちづくりの推進	美化推進モデル地区の指定	4地区	4地区	4地区		
地球環境保全への貢献	地球温暖化防止に取り組めます	新エネルギーの導入促進	一般住宅の太陽光発電システムによる発電電力	9,689kW（助成対象累計）	事業終了	事業終了	事業終了。 小中学生編と一般家庭編に10,720人の参加報告があった。現在、集計作業を進めている。	環境政策課
		くらしや事業活動における環境への配慮の促進	「ひらつかCO2 CO2プラン」に取り組んだ人数	9,745人	10,000人	10,000人		環境政策課
			平塚市環境共生型企业懇話会の参加企業延べ数(再掲)	71企業	100企業	100企業		
	循環型社会をつくります	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	市民1人が1日に排出するごみの量	898g（速報値）	910g	910g	年度を通しての実績値であり、年度途中では計れない。なお、ごみの減量を呼び掛けるチラシの配布等の推進施策は実施している。	循環型社会推進課
ごみの資源化率			25.0%（速報値）	25.0%	25.0%	年度を通しての実績値であり、年度途中では計れない。なお、資源化率の向上に寄与する剪定枝の資源化施策について、下半期からの実施に向け準備を行った。	循環型社会推進課	

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課			
					27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定				
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」をふやします	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	①幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進	「わかば環境ISO」の推進	「わかば環境ISO」の推進	幼稚園・小中学校での取組の推進 ホームページにおける取組状況の発信(年2回更新等)	⇒	前年度の反省を踏まえ、各校(園)で計画を作成し、実践を行う。	各校(園)で共通メニュー及び独自メニューについて計画を作成し実践している。 小学校1校、中学校1校、幼稚園1園の計3校(園)の取組み事例を紹介するためにホームページを更新する準備をした。	前期に続き、継続的な実践を重ね、外部評価者により、取組み状況の確認を行う。 平成27年度の取組み報告に基づいた各校(園)の主な取組み事例を紹介する。	教育総務課 教育指導課 環境政策課		
						民間幼稚園での「わかば環境ISO」の取組の促進	⇒	私立幼稚園園長会等で取組みの啓発に努めます。	私立幼稚園の会議の場において、制度について説明し、新たな取組への参加を呼び掛けた。	私立幼稚園に直接訪問し、制度について説明し、新たな取組への参加を呼び掛ける。			
				保育園における環境への取組の促進	保育園における環境への取組の促進	環境配慮に関する学習や家庭への普及・啓発の実施(公立保育園全園で実施)	⇒	ゴーヤ等を利用した緑のカーテンに積極的に取り組みます。 特に、夏場の水利用に配慮します。	ゴーヤ等を利用した緑のカーテンに積極的に8園取り組んだ。 特に、夏場の水利用に配慮した。	廃材を利用した作品を作るなど、イベント等で積極的にリサイクルを行う。			
						民間保育園での環境配慮物品の利用促進等(全園に協力依頼)	⇒	継続して環境に配慮してもらうよう呼びかける。	環境配慮行動チェックシートを配布し、環境に対する意識を高めてもらった。	継続して環境に配慮してもらうよう呼びかける。			
			②学校などでの環境学習の支援	環境学習教材や情報の提供	「ごみ学級」等の実施	⇒	全小学校28校で実施	⇒	小学校4年生を対象に市内28校で実施予定(4月～6月)	小学校4年生を対象に4月から6月にかけて市内28校で実施し、2,199人が受講した。	実施予定なし。	循環型社会推進課 環境政策課	
					環境学習教材や情報の提供	⇒	教材の貸出、環境学習ガイドホームページの更新、他団体等との連携の施行等	⇒	・教材の貸出について、ホームページや各イベント等で周知する。 ・「わたしたちの平塚」の新3年生への配布。 ・環境学習教材の貸し出し	・教材の貸出について、ホームページや各イベント等で周知し、3件の貸出をした。 ・「わたしたちの平塚」を新小学3年生に配布した。 ・環境学習教材の貸し出しをした。	・教材の貸出について、ホームページや各イベント等で周知する。 ・「わたしたちの平塚」の必要部分の改定と、新小学3年生への配布準備をする。 ・環境学習教材の貸し出しをする。		
			「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	①市民の環境保全活動に対する支援	「環境活動支援事業」等による支援	「環境活動支援事業」等による支援	助成金交付講座開催 情報提供	⇒	・環境保全活動を率先して行う市民を増やすため、環境市民講座を行う。また、緑化まつり及びひらつか環境フェアに出展する。 ・26年度助成を受けた市民活動団体の活動の成果報告会を開催する。(4月) ・27年度の助成が決定した団体に助成金を交付する。	・環境保全活動を率先して行う市民を増やすため、環境市民講座を行った。また、緑化まつり及びひらつか環境フェアに出展した。 ・平成27年4月25日に、26年度助成を受けた市民活動団体8団体の活動の成果報告会を開催した。 ・27年度の助成が決定した5団体に助成金を交付した。	・上半期の実施状況を振り返るとともに、翌年度に向けた取組を検討する。 ・27年度助成対象の団体に中間ヒアリングを実施し、事業の進捗状況を確認する。(9～12月) ・28年度の助成分について審査会を実施する。(3月)	環境政策課 協働推進課

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課		
					27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定			
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	①市民の環境保全活動に対する支援	環境保全活動団体への支援	環境保全活動団体への支援	事業費の助成 研修会等の開催 情報提供等	⇒	・支援の実施 ・公園愛護会連絡協議会総会の開催 ・会報の発行 ・情報提供、活動支援等 ・緑化モデル団体総会の開催	【公園愛護会】 ・公園愛護会への交付金の交付 ・連絡協議会への補助金の交付 ・総会、役員会の開催 【緑化モデル団体】 連絡協議会との連携として、情報提供や事業支援を行った。	公園愛護会連絡協議会研修会の実施 ・会報の発行 ・情報提供、活動支援等	循環型社会推進課 みどり公園・水辺課	
			②環境にやさしい企業づくりの支援	平塚市環境共生型企業懇話会の開催	平塚市環境共生型企業懇話会の開催	懇話会の開催 活動発表	⇒	会員企業向けに講演会と施設見学会等を開催します。企業や会の活動を紹介するパネル展示も行う。	講演会と施設見学会を開催し、その他に役員会と、環境フェアにおいてパネル展示等による活動発表を行った。	施設見学会と事例研究を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。		産業振興課
				公害関係法令に関する情報提供	公害関係法令に関する情報提供	公害関係法令に関する説明会の開催、ホームページによる情報発信等	⇒	・ホームページでは、随時情報発信を行う。 ・事業場立入時に、最新の情報をチラシ等で周知する。 ・事業者説明会の内容、対象事業場について検討を進める。	・法令改正に係る情報発信を行った。 ・事業所立入時に法令改正のチラシの配布を行った。(53社) ・事業所説明会の実施に向けて対象事業所の検討を行った。	・法令改正、その他必要な情報について、随時情報発信に努める。 ・大気関係立入時に、配付するチラシの内容を検討する。 ・詳細を決定し、年度内に説明会を実施する予定。		
			③「環境市民」のネットワークづくりの促進	「ひらつか環境ファンクラブ」の活動の促進	「ひらつか環境ファンクラブ」の活動の促進	活動発表会 4回開催	//	4回開催	緑化まつり及び環境フェアへ出展する。	活動発表会を2回実施した。 ・4月に「緑化まつり」に参加し、パネル展示と環境教室を実施した。 ・7月に平塚市役所本館で開催された「ひらつか環境フェア2015」に参加し、パネル展示と環境教室を実施した。		パネル展及び活動発表会を実施する。
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	①生物多様性の保全策の検討	生物多様性の保全に向けた仕組みづくりの検討	生物多様性の保全に向けた仕組みづくりの検討	戦略策定	進行管理	-	-	-	みどり公園・水辺課	
			②野生生物の情報収集	野生生物の情報収集・発信	野生生物の情報収集・発信	情報収集・発信	⇒	市内各所の植物に関する情報を収集し、標本とデータを整理する。	湘南地区の植物標本の集約と整理を行った。	引き続き湘南地区の植物標本とデータの整理を進める。		博物館
			③生物空間の保全対策の推進	みどりと水辺のネットワークの形成	みどりと水辺のネットワークの形成	植栽等の整備	⇒	公共スペースへの植栽等の整備を推進し、みどりと水辺のネットワークを形成することによって、生物の生育・生息空間の連続性を確保する。	公共・公益スペースへの植栽等を行い、緑のネットワーク形成を図った。また、学校等の公共施設に草花の苗や球根を配布したほか、公園、広場等の公共用地及び公民館等の244個のプランターや花壇に住民団体、公共機関の協力を得ながら花苗を植栽した。	公共スペースへの植栽等の整備を推進し、みどりと水辺のネットワークを形成することによって、生物の生育・生息空間の連続性を確保する。		みどり公園・水辺課
	生物空間の維持管理と利用	生物空間の維持管理と利用	維持管理と利用	⇒	里山保全モデル事業、環境教室、大学交流事業を実施する。 馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」5回実施予定。	里山保全モデル事業(里山の下草刈り等)、環境教室、大学交流事業(田植え)を実施した。 馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」を6回実施した。	里山保全モデル事業を6回開催する予定。 馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」を4回実施する予定。	環境政策課 農水産課 みどり公園・水辺課				

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課	
					27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	④野生生物への理解の促進	自然についての展示、講座、観察会等の実施	自然についての展示、講座、観察会等の実施	4回	4回	自然観察に関する講座や動植物を調べる行事を開催する。	セミの抜け殻を調べる行事(2回、38人)や金目川の野鳥を観察する自然教室(1回、9人)を開催した。	吉沢地区でキノコの観察会を1回実施するほか、室内での講座を実施し観察会とは別の層の市民を対象に、身近な生物への理解促進を図る予定。	博物館
			⑤鳥獣対策の推進	鳥獣対策の推進	鳥獣対策の推進	予防策の周知、イノシシ捕獲檻の設置 28箇所	30箇所	<<くり罟を15基設置する。	<<くり罟を15基設置した。	<<くり罟を15基設置する。	環境政策課 農水産課
				特定外来生物の防除	特定外来生物の防除	捕獲・処分の実施	⇒	引き続き、周知、捕獲等実施します。	特定外来生物であるアライグマを35匹捕獲し、処分した。	引き続き、周知、捕獲等実施する。	
	里山を保全し再生します	里山の保全・再生とふれあいの推進	①里山保全モデル地区における活動の推進	里山保全モデル地区における活動の推進	里山保全モデル地区における活動の実施	里山の維持管理と活用	⇒	5月開催予定。	里山保全モデル事業(里山の下草刈り等)を1回開催した。	里山保全モデル事業を6回開催する予定。	環境政策課
			②市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	里山保全に関する講座・研修の実施、市民を主体とした里山保全活動の実施、ホームページ等による里山保全に関する情報の発信	⇒	里山保全に関する研修等を実施する。ホームページ等で情報発信を行う。	平塚市内で里山保全活動をする2団体にに対して補助金を交付した。	引き続き、市民活動支援を行う。	
			③里山の自然とのふれあいの促進	里山体験教室等の開催	里山体験教室等の開催		9回	9回	里山保全モデル事業を1回、市民・大学交流事業を1回、夏休み子ども環境教室を1回開催する。	里山保全モデル事業(里山の下草刈り等)を1回、市民・大学交流事業(田植え)を1回、夏休み子ども環境教室を1回開催した。	
農地を保全し活用します	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	①農業活性化の推進	担い手育成事業	担い手育成事業	農業経営改善計画認定推進活動の実施	⇒	認定農業者の再認定活動を確実にすることを中心に、農業経営改善計画認定推進活動を推進する。	認定農業者の再認定活動を確実に、農業経営改善計画認定推進活動を推進した。認定期限を迎える、対象4件に対し、3件の再認定を行った。	認定農業者の再認定活動を引き続き行い、農業経営改善計画認定推進活動を推進する。	農水産課	
			サポートファーマー育成事業	サポートファーマー育成事業	農作業研修・講義の開催	⇒	・主に研修2年目の人を対象に、農地を貸し付け、巡回指導を行う。 ・人手が必要な農家と援農ボランティアのマッチングを行う。	・市民11名に対し農作業研修を実施した。 ・人手が必要な農家と援農ボランティアのマッチングを21件行った。	・市民10人に対し農作業研修を実施する。 ・人手が必要な農家と援農ボランティアのマッチングを行う。		
			農地の貸し借りの促進	農地の貸し借りの促進	農地制度に関する情報の発信による農地の貸し借りの促進	⇒	遊休化防止・解消及び農地集積・集約を図るため、農地制度の情報発信を行い、意欲のある担い手への農地の利用集積を促進する。(年間目標7ha)	約3.0haの農地の利用集積をした。	さらに、貸し借りを促進し、年間目標である7haの利用集積の達成を目指す。	農業委員会	

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課	
				27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
自然環境の保全と再生	農地を保全し活用します	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	②市民と農業とのふれあいの充実	市民農園整備支援事業(市民農園整備に対する助成・開設)	1箇所	1箇所	市民農園の候補地の選定と開設に向け事前調査等の手続きを行う。	市民農園の候補地を選定(小鍋島)。開設に向け事前調査等の手続きを行った。	平成28年3月の市民農園開園に向けて、事務手続きを行う。	農水産課
				ひらつか花アグリ「農の体験・交流館」の運営	ひらつか花アグリ「農の体験・交流館」の運営	⇒	大型市民農園施設(管理休憩施設・公的農園)の管理運営を行う。	大型市民農園施設(管理休憩施設・公的農園)の管理運営を行った。	大型市民農園施設(管理休憩施設・公的農園)の管理運営を行う。	
				花畑創出事業の実施	⇒	水田農業における休耕期に、農業者の参画のもと、クリムソクローバーを栽培する以外にも、時期をずらした取り組みとして彼岸花の栽培をJAと協力して進める。	JA支所の回覧版で協力農家を募集し、750個の球根を配布した。	次年度に向けて、協力者と彼岸花の管理について研究する。		
				農業体験学習の支援	⇒	米づくり体験について、田植え体験、草とり体験を行う。	6月20日(土)に田植え体験、7月18日(土)に草取りを実施しました。	10月17日(土)に稲刈り体験、10月18日(日)に乾燥・もみすり機の作業見学、米の受け渡しを実施する予定。		
			③地産地消の推進	地産地消の推進	ベジ太を活用して平塚産農産物をPR	⇒	着ぐるみを様々な場で活用することで平塚産農産物の販売促進につなげる。	SunSunマルシェ、緑化まつり、東海大学おひろめ芸術祭などの様々なイベントに参加し、平塚産農産物をPRした。	でてこいまつりやひらつか花アグリ収穫祭など引き続きイベントに積極的に参加して、平塚産農産物をPRする。	
					学校給食における地場産品の利用	⇒	地元農家が生産した新鮮な野菜、平塚漁港で水揚げされた魚や水産加工品等、地場産品の使用を推進する。	平塚産野菜を月平均で4~5品目決めて使用し、さらに指定品以外でも平塚産が供給可能な場合は、積極的に使用した。(割合は中間報告なし。)	地元農家が生産した新鮮な野菜、平塚漁港で水揚げされた魚や水産加工品等、地場産品の使用を推進する。	
				地場産品の普及	「湘南ひらつかふれあいマーケット」の開催、「湘南ひらつか名産品」の普及・PR等	⇒	湘南ひらつかふれあいマーケットを月1回開催する。湘南ひらつか名産品の普及・宣伝を行う。	湘南ひらつかふれあいマーケットを月1回開催した。緑化まつり、七夕まつり、花巻まつり特産品フェアなど各種物産展等に参加するとともに、「湘南ひらつか名産品」のパンフレット等により地場産物をPRした。	湘南ひらつかふれあいマーケットを月1回開催する。商業まつり、JA湘南でてこいまつりなど各種物産展等に参加するとともに、「湘南ひらつか名産品」のパンフレット等により地場産物をPRする。	
			地域ブランドの開発支援等の実施		⇒	産業活性化会議及び各プロジェクトを開催する。事業者の支援。	・「平塚市産業活性化会議」を1回開催した。 ・諸課題を解決するためのプロジェクトチームの設置を行い研究を実施した。 ・6次産業化・地産地消法と中小企業地域資源活用促進法認定事業者の新商品開発を支援した。	産業活性化会議及び各プロジェクトを開催するとともに事業者の支援を引き続き行う。		

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課	
					27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
都市環境の保全と創造	うるおいとやすらぎのあるまちにします	みどりのネットワークの形成	①拠点となるみどりの確保	身近な公園整備の推進	身近な公園整備の推進	高麗山公園再整備、街区公園再整備	⇒	—	現地調査により高麗山公園のサクラの枯損、補植位置の確認作業を行った。	枯損したサクラの抜根 3本 サクラの補植 3本	みどり公園・水辺課
				花とみどりのまちづくりの推進	花とみどりのまちづくりの推進	公共施設への草花等の配布 モデル地区への草花の苗の配布	⇒ ⇒	年1回(下半期)実施 モデル地区及びモデル商店街へ花苗を2300株、商店会へ370株を配布する。	— 6月にモデル地区及びモデル商店街へ花苗を2300株、商店会へ360株を配布した。	10月に公共施設43箇所への花苗の配布を予定。 10月にモデル地区及びモデル商店街へ花苗を2300株、商店会へ360株を配布予定。	
			②みどりのつながりの確保	生垣の設置促進と良好な樹木等の保全	新たな生垣の設置に対する助成 保全樹林制度による樹木等の保全	その他民有地緑化策についても検討 保全樹木63本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所	未定	新たな生垣設置に対して助成を行う。(年間目標160m) 保全樹木63本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所	新たな生垣設置はなかった。チラシの配布を行った。	新たな生垣設置に対して助成を行う。(年間目標160m) 保全樹木63本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所 基準に基づき候補樹木の調査を予定。	
				道路沿いの緑化	道路沿いの緑化	市民による緑化協力箇所数11箇所(苗木の提供3,900本)	" 12箇所 (" 4,000本)	11箇所に2,600本程度を提供予定。	10箇所に、2,136本を提供し緑化を行った。	11箇所に、2,200本程度を提供する予定。	
			③市民や事業者による緑化活動の支援と促進	緑化に関する普及啓発の実施	緑化に関する普及啓発の実施	緑化まつり、緑化ポスター・標語コンクールの実施	⇒	第42回平塚市緑化まつりの実施 第42回平塚市緑化ポスター・標語コンクールの実施	第42回平塚市緑化まつりを開催し、2日間で47,000人の来場があった。また、環境配慮型イベントとしてゴミの減量化に取り組んだ。 第42回平塚市緑化ポスター・標語コンクールを実施し、ポスター627点、標語1,080点の応募があった。	第43回平塚市緑化まつり開催について検討する。 第42回平塚市緑化ポスター作品の展示会を実施する。	
				市民の緑化活動に対する支援	市民の緑化活動に対する支援	緑化モデル団体や公園愛護会の活動に対する支援	⇒	うるおいとやすらぎのあるまちにするため、市民の緑化活動に対する支援策として、地域で緑化を推進する「緑化モデル団体」及び「公園愛護会」への支援を継続し、みどりのネットワーク形成に努める。	緑化モデル団体に対し、交付金を交付し、花苗を配布した。 愛護会は、総会、役員会を開催し、各団体へは交付金を交付した。	うるおいとやすらぎのあるまちにするため、市民の緑化活動に対する支援策として、地域で緑化を推進する「緑化モデル団体」及び「公園愛護会」への支援を継続し、みどりのネットワーク形成に努める。 また、公園愛護会連絡協議会研修会を実施し、愛護会への支援を継続して行う。	
				事業所等における緑化の促進	事業所等における緑化の促進	事業所等における緑化促進に関する指導	⇒	まちづくり条例に基づき、事業所等における緑化促進に関する指導を実施する。	まちづくり条例に基づき、緑化促進に関する指導を実施した。(緑化計画書の提出を指示したものは41件であるが、その他の案件においても出来るだけ多くの緑地を確保するよう指導した。)	まちづくり条例に基づき、事業所等における緑化促進に関する指導を実施する。	

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課		
				27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定			
都市環境の保全と創造	うるおいとやすらぎのあるまちにします	みどりのネットワークの形成	①さわやかで清潔なまちづくりの推進	「美化推進モデル地区」における取組の支援	「美化推進モデル地区」における取組の支援	モデル地区・活動等の充実	⇒	引き続き指定地区への支援を行う。	美化推進モデル地区に対し、清掃や条例啓発等の美化活動に必要な支援を行った。	引き続き指定地区への支援を行う。	循環型社会推進課
				地区美化推進委員会に対する支援	地区美化推進委員会に対する支援	活動に対する助成や連絡協議会の開催等	⇒	4月に連絡協議会の開催予定。	連絡協議会を開催し、まちぐるみ大清掃や補助金支給に関する事務連絡を行うほか、各地区の取組について情報交換を行った。	連絡協議会を開催し、まちぐるみ大清掃や補助金支給に関する事務連絡を行うほか、さわやか条例の改正について情報交換を行う。	
				清潔なまちづくりに向けた普及啓発の実施	清潔なまちづくりに向けた普及啓発の実施	まちぐるみ大清掃の実施(年2回)、ポイ捨て防止キャンペーンの実施等	⇒	まちぐるみ大清掃及びキャンペーンを実施予定。	春のまちぐるみ大清掃を1回、条例キャンペーンを1回実施した。	秋のまちぐるみ大清掃を1回、土木部との合同による条例キャンペーンを1回実施する予定。	
地球環境保全への貢献	地球温暖化防止に取り組みます	新エネルギーの導入促進	①公共施設における新エネルギーの率先導入	公共施設への太陽光発電システムの率先導入	公共施設への太陽光発電システムの率先導入	競輪場メインスタンド改修工事等の発注 各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事を推進。	市民病院整備事業にて、太陽光発電システムを設置するための工事を実施した。	各施設の完成に向けて、工事を推進する。	建築住宅課事業担当課
				新エネルギー導入に関する調査・検討の実施	新エネルギー導入に関する調査・検討の実施	調査・検討	⇒	引き続き新エネルギーに関する情報収集などを行う。	引き続き新エネルギーに関する情報収集などを行った。	引き続き新エネルギーに関する情報収集などを行う。	環境政策課
			②一般家庭や事業者への太陽光発電システム等の導入促進	一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成	一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成	事業終了	事業終了	-	-	-	

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課				
				27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定					
地球環境保全への貢献	新エネルギーの導入促進	②一般家庭や事業者への太陽光発電システム等の導入促進	一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成	一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成	燃料電池の設置に対する助成 70件	(// 70件) 適宜見直し	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントで周知し、70件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を積極的に行った。その結果、9月末現在、52件の申し込みを受け付けた。	ホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、18件に助成する。	環境政策課			
			事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援	事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援	本市融資制度内に資金メニューの設置 利子補給・信用保証料補助	⇒	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに融資を受けた事業者に対し、利子補給・信用保証料補助を行う。	「地球温暖化対策資金」の申請及び補助金の交付実績はなかった。	引き続き「地球温暖化対策資金」の資金メニューについてホームページ、チラシなどにより周知を行う。		産業振興課		
			新エネルギーに関する普及啓発の実施	新エネルギーに関する普及啓発の実施	イベントでのPRや子ども環境教室の開催など	⇒	緑化まつりやひらつか環境フェアで環境教室を開催する。	「地球温暖化対策資金」の申請及び補助金の交付実績はなかった。	引き続き「地球温暖化対策資金」の資金メニューについてホームページ、チラシなどにより周知を行う。			環境政策課	
		地球温暖化防止に取り組めます	くらしや事業活動における環境への配慮の促進	①環境に配慮したくらしの普及	日常生活における環境への配慮の取組の促進	日常生活における環境への配慮の取組の促進	「ひらつかCO2CO2プラン」の取組呼びかけなど	⇒	・ひらつかCO2CO2プランへの取組を呼び掛ける。	「環境フェア」などのイベントや小中学校等を通じて、市民等にコツコツプランなどの普及に努めた。	各種イベントでのPR及び環境学習教材の貸出を行い、普及啓発を図る。		環境政策課
					一般住宅への太陽光発電システムの設置に対する助成(再掲)	一般住宅への太陽光発電システムの設置に対する助成(再掲)	事業終了	事業終了	-	-	-	-	
					燃料電池の設置に対する助成(再掲)	燃料電池の設置に対する助成(再掲)	70件	(// 70件) 適宜見直し	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントで周知し、70件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を積極的に行った。その結果、9月末現在、52件の申し込みを受け付けた。	ホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、18件に助成する。		
	電気自動車等の導入に対する助成				電気自動車等の導入に対する助成	電気自動車20件	-	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、電気自動車の導入に対して20件の助成を行う。	電気自動車の購入について、13件に助成した。	ホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、電気自動車の導入に対して7件に助成する。			
	自治会等が管理する防犯灯へのLEDの導入に対する助成				自治会等が管理する防犯灯へのLEDの導入に対する助成	設置費の助成	⇒	LED街路灯200灯分の助成を行う。	168灯のLED防犯灯導入に対して助成を行った。	50灯のLED防犯灯導入に対して助成を行う予定。			
	危険管理課												

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	事業計画 (下線は変更後)				27年度			主管課		
							上半期(予定)		上半期実績		下半期予定	
			27年度		28年度							
地球環境保全への貢献	地球温暖化防止に取り組みます	くらしや事業活動における環境への配慮の促進	①環境に配慮したくらしの普及	雨水の有効活用の促進	雨水の有効活用の促進	雨水貯留槽の設置に対する助成 20基	〃 20基	雨水貯留槽の設置に対する助成をする。 (15基)	雨水貯留槽の設置に対する助成をした。 (7基)	雨水貯留槽の設置に対する助成をする。 (13基)	下水道経営課	
				省エネルギー機器等の利用促進	省エネルギー機器等の利用促進	イベント等における情報提供	⇒	市民団体や事業者等と協力し、「ひらつか環境フェア2015」等を開催し、省エネ機器等の情報提供を行う。	子どもを対象に太陽光パネルを利用した工作教室を実施した。	イベント等の開催時に合わせて、適宜、情報提供する。	環境政策課	
				クール・ビル作戦等の実施	クール・ビル作戦等の実施	クール・ビル作戦、クール・タウン作戦の実施	⇒	クール・タウン作戦を実施し、ゴーヤ苗を市民に配布する。	希望する市民に対して、ゴーヤ苗を配布するとともに「みどりのカーテンコンテスト」参加者を募集した。	「みどりのカーテンコンテスト」入賞者に対して、表彰式を開催する。		
			平塚市環境共生型企業懇話会の開催(再掲)	平塚市環境共生型企業懇話会の開催(再掲)	懇話会の開催活動発表	⇒	講演会と施設見学を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。	講演会と施設見学を開催し、その他に役員会と、環境フェアにおいてパネル展示等による活動発表を行った。	施設見学と事例研究を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。	産業振興課		
			事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援(再掲)	事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援	本市融資制度内に資金メニューの設置 利子補給・信用保証料補助	⇒	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに融資を受けた事業者に対し、利子補給・信用保証料補助を行う。	「地球温暖化対策資金」の申請及び補助金の交付実績はなかった。	引き続き「地球温暖化対策資金」の資金メニューについてホームページ、チラシなどにより周知を行う。	産業振興課		
			事業活動における環境への配慮の促進	事業活動における環境への配慮の促進	事業者に対する働きかけ、情報提供、設備導入に対する助成	⇒	環境設備の導入助成制度を広報紙、ホームページ、チラシなどにより周知を行う。	環境設備の導入助成制度の申請はなかった。	引き続き環境設備の導入助成制度を広報紙、ホームページ、チラシなどにより周知を行う。	産業振興課 環境政策課		
			建築に伴う環境負荷の低減	建築に伴う環境負荷の低減	法令に基づく指示等の実施	⇒	法令に基づく指示等の実施。	法令に基づく指示等を実施した。	法令に基づく指示等を実施する。	建築指導課		
			③市の事業活動における環境への配慮	ひらつかエコモードの取組の推進	ひらつかエコモードの取組の推進	⇒	取組の推進	⇒	平成27年度の目標に向け、取組を継続的に推進する。	平成27年度の目標達成に向け、省エネルギー、省資源の取組などを継続的に推進した。	平成27年度の目標達成に向け、省エネルギー、省資源の取組などを継続的に推進するとともに、環境監査を行う。	環境政策課
				ごみの焼却に伴う余熱利用の推進	ごみの焼却に伴う余熱利用の推進	⇒	建設工事着手	⇒	工事契約を締結する。	工事契約を締結した。	建設工事に着手する予定。	環境施設課

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課						
				27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定							
地球環境保全への貢献	地球温暖化防止に取り組めます	くらしや事業活動における環境への配慮の促進	③市の事業活動における環境への配慮	環境に配慮した公共施設の整備の推進	環境に配慮した公共施設の整備の推進	競輪場メインスタンド改修工事等の発注各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事に環境に配慮した施設整備を推進。	環境に配慮した市民病院整備事業などの工事が滞りなく進捗している。	競輪場メインスタンド整備事業や余熱利用施設建築工事など、環境に配慮した施設整備を推進する。	建築住宅課 事業担当課				
						防犯灯へのLEDの導入50灯		50灯	防犯灯10灯にLEDを導入する。	防犯灯1灯にLEDを導入した。		防犯灯50灯にLEDを導入する予定。	危機管理課		
						街路灯のLED化の検討・導入		⇒	駅周辺部において、リース方式により街路灯のLED化の検討及び実施を予定。	駅周辺部において、リース方式により街路灯のLED化を検討し、発注準備を行った。		駅周辺部において、リース方式により街路灯156個をLED化する予定。		道路管理課	
						廃棄物発電		廃棄物発電	発電余剰分売電	⇒		発電余剰分を売電する。	環境事業センター運営事業者が発電余剰分12,151,920kWhを売電した。		発電余剰分を売電する。
						公共施設における環境に配慮した電力調達契約の推進		公共施設における環境に配慮した電力調達契約の推進	事業者の選定電力調達	⇒		-	-	環境評価項目を満たした事業者を対象に入札を実施し、契約を行う。	契約検査課 環境政策課 事業担当課
	循環型社会をつくりまします	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	①廃棄物の発生抑制・資源化の推進	ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発	ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発	ごみ減量化・資源化協力店制度の拡充等	⇒	ごみ減量化・資源化協力店の利用を啓発するとともに、協力店を拡充する。	協力店は新規登録もあるが、閉店等もあるので減少した。	ごみ減量化・資源化協力店の利用を啓発するとともに、協力店を拡充する。	循環型社会推進課 環境施設課				
						家庭ごみの有料化に向けた検討	家庭ごみの有料化に向けた検討	有料化に向けた調査・研究	⇒	指定袋制を含めた有料化について導入理由を含めた調査研究を行う。		ごみの減量化に対する効果や収集コストの増加等の問題点も含めて検討した。	引き続きごみの減量化に対する効果や収集コストの増加等の問題点も含めて検討する。		
						生ごみの減量化・資源化の促進	生ごみの減量化・資源化の促進	コンポスターの販売115台	115台	イベントやチラシの回覧、生ごみ処理推進事業で一般家庭へ更なる啓発を図っていく。	イベントでの啓発、回覧での広報活動を行った。上半期の販売台数は28台だった。	庁内2ヶ所（リサイクルプラザ・循環社会推進課）で販売を行う。また、ごみ通信（回覧）などで広報を行う。	循環型社会推進課		
								電動生ごみ処理機購入費の助成30件	30件	イベントやチラシの回覧、生ごみ処理推進事業で一般家庭へ更なる啓発を図っていく。	イベント（緑化まつり）での処理機の紹介、補助制度説明のチラシ配布を行った。ごみ通信の回覧を行った。	イベントやチラシの回覧、協働事業等でさらなる啓発を図る。			

(2)重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)		27年度			主管課	
					27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
地球環境保全への貢献	循環型社会をつくれます	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	①廃棄物の発生抑制・資源化の推進	事業系ごみ多量排出者に対する指導	事業系ごみ多量排出者に対する指導	57件	58件	各事業所の排出量を把握し、多量排出事業者に減量化等計画書を提出させる。	調査を実施し各事業所の排出量を把握。多量排出事業者は63社となり、全事業所から「減量化等計画書」を提出させ、事業者自身に排出量削減の意識付けをし、担当課で内容を把握。	多量排出事業者のうち数社に対し現地確認を行い、更に廃棄物の発生抑制、資源化の意識付けを行う。	循環型社会推進課
				剪定枝の有効利用の検討	剪定枝の有効利用の検討	⇒	後期の資源化施設への搬入に向け、収集運搬方法等を決定し、市民周知を行う。	収集運搬方法等を決定し、市民周知（広報ひらつか・報道発表・自治会回覧板でのチラシ回覧・平塚市Webページへの掲載・排出方法を示したごみ分別表の配布等）を行った。	決定、市民周知した運用方法に基づき、二宮町の剪定枝資源化施設に搬入を行います。搬入された剪定枝は資源化処理される。		
				焼却残さの資源化の推進	焼却残さの資源化の推進	新たなごみ焼却施設における焼却残さ資源化の開始	⇒	ごみ焼却施設焼却残さを資源化する。	ごみ焼却施設焼却残さ3399.87トンを経済資源化した。	ごみ焼却施設焼却残さを資源化する。	
			②廃棄物の適正処理の推進	新たなごみ焼却施設の整備	新たなごみ焼却施設の整備	ごみ焼却施設の整備・稼働	—	平成25年に整備事業が終了し、平成25年10月から本稼働を開始した。	平成25年に整備事業が終了し、平成25年10月から本稼働を開始した。	平成25年に整備事業が終了し、平成25年10月から本稼働を開始した。	環境施設課
				広域的なごみ処理の推進	広域的なごみ処理の推進	広域処理施設の整備、ごみ分別収集区分の統一等	⇒	分別収集区分の統一に係るマニュアルを運用する。	分別収集区分の統一に係るマニュアルを運用した。	分別収集区分の統一に係るマニュアルを一部見直す。	